

JA総合営農研究会 第71回公開研究会

多様な組合員・生産者組織との合意形成の 今日的な在り方を探る

～協同活動の原点回帰や課題解決に向けたさまざまな対応実践～

2026年 **7月23日(木)** 13:00～17:00 **24日(金)** 9:00～12:00

会場 **日本農業研究所 1F** オンライン参加可(zoom使用)
(東京都千代田区紀尾井町3番29号 地下鉄有楽町線 麹町駅より徒歩3分他)

会場が変わります。
ご注意ください!
(裏面に地図あり)

開催趣旨

「令和の米騒動」に明け暮れた2025年はJA営農経済事業の戦略と組合員との信頼関係を構築する必要性が改めて問われた。JAの大型合併や農村地域の人口減少等によりJA営農経済事業を取り巻く環境が激変するとともに、組合員の経営規模、品目、年齢構成そして経営形態(個別経営体・法人等)も大きく変化してきた。加えて農村部は少子高齢化や農業経営からの離脱が急速に進行し、コミュニティ組織の維持すら困難な地域が散見されるに至っている。

第70回記念公開研究会でのさまざまな提起を踏まえ、各JAの営農経済事業の実態を総括し、改めて「組合員手取りの最優先」という原点に立ち返る必要がある。協同活動の原点を踏まえながら、組合員の多様化と環境の変化に対応した組合員や生産者部会など組合員組織との「合意形成の在り方」とは？

営農・経済事業(営農指導事業・販売事業・購買事業・利用事業・加工事業・直売事業等)の原点を踏まえた事業展開と改善の在り方とは？

各事例報告や参加JAの現状を踏まえて、各般にわたるJAの在り方・取り組み手法・事業改善の方向性についても積極的に議論し、今後の参考とされたい。

食料・農業・農村を支え共に寄り添い歩むのは、「営農経済事業」を中核とし、組合員・法人等と「共通の課題に向き合う合意形成の在り方」「価値体系の共有化」を基本信条とする、地域の農業協同組合であることをしっかりと認識し、事業価値の創造を力強く展開したいと考える。

発表者と発表内容

基調講演 ①

食料・農業・農村の変貌、 その存続条件とJA営農経済事業

吉田俊幸(一般財団法人 農政調査委員会 理事長)

事例報告 ①

JA遠州中央の茶の状況と これからの茶業について

藤江貴之(JA遠州中央 営農事業部 茶業農畜産課 課長)
川瀬文敬(JA遠州中央 営農事業部 茶業農畜産課 主任)

事例報告 ②

多様な組合員が創る「直売所じばさんず」を 核とした農業

中島聡(JAはだの 営農経済部 営農課 課長)

事例報告 ③

離島を結ぶ特有の地域農業と 組合員との合意形成

森康弘(JAおちいまばり 常務理事)
芥川和豊(JAおちいまばり 総合企画部 企画管理課課長)

事例報告 ④

JAえちご上越米の販売戦略について

岩崎健二(JAえちご上越 前常務理事)

JA総合営農研究会
(旧JA-IT研究会)

- 全国農業協同組合中央会(JA全中) 営農・担い手支援部営農企画課内
- 全国農業協同組合連合会(JA全農) 耕種総合対策部統括課内
- 一般社団法人農山漁村文化協会(農文協) 経営局文化活動グループ内

〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田2-2-2 TEL:048-233-9336 FAX:048-299-2815

プログラム

1日目

7月23日 (木)

- 12:30～ 受付
- 13:00～ 開会挨拶
◆黒澤 賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)
- 13:15～ **基調講演①**
**農業・農村の変貌、
その存続条件とJA営農経済事業**
◆吉田俊幸 (一般財団法人 農政調査委員会 理事長)
- 14:15～ **事例報告①**
JA遠州中央の茶の状況とこれからの茶業について
◆藤江貴之 (JA 遠州中央 営農事業部 茶業農畜産課 課長)
◆川瀬文敬 (JA 遠州中央 営農事業部 茶業農畜産課 主任)
- 15:30～ **事例報告②**
**多様な組合員が創る『直売所じばさんず』を
核とした農業**
◆中島聡 (JA はだの 営農経済部 営農課 課長)
- 16:30～ 質疑・討議
- 17:00 終了
- 18:00～ 交流懇親会 (別会場)

参加費 (一人あたり)

●会員

会場参加: 17,000円 (交流懇親会費込み)
(正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は14,000円)
オンライン: 12,000円
(正会員・生産法人会員・団体特別会員で2人目以降は9,000円)

●非会員

会場参加: 22,000円 (交流懇親会費込み)
オンライン: 17,000円
※ オンライン参加の参加費を会場参加とは別に設定します。
※ 事前にお振り込みください (振り込み先は別途お知らせします)。
※ 参加費に宿泊費は含まれていません。宿泊は各自でご手配ください。

JA 総合営農研究会に入会し、実践交流しませんか？

- ☆ 入会案内パンフレット (入会申込書付) がございますので、
お問い合わせ・ご請求ください。
TEL: 048-233-9336 (農文協)
- ★ 年会費
正会員 20,000円 * 単位農協 (県1JAについては地区事業本部等)
生産法人会員 5,000円 * 集落営農、農業生産法人
特別会員 団体50,000円 個人5,000円



JA 総合営農研究会 ホームページ
ja-it.net

次回の公開研究会案内や過去の
報告内容などを掲載しています。

2日目

7月24日 (金)

- 9:00～ **事例報告③**
離島を結ぶ特有の地域農業と組合員との合意形成
◆森康弘 (JA おちいまばり 常務理事)
◆芥川和豊 (JA おちいまばり 総合企画部 企画管理課課長)
- 10:00～ **事例報告④**
JA えちご上越米の販売戦略について
◆岩崎健二 (JA えちご上越 前常務理事)
- 11:00～ **総合討論**
◆進行 吉田俊幸 (JA 総合営農研究会 副代表委員)
- 11:40～ **討論のまとめ**
◆黒澤 賢治 (JA 総合営農研究会 代表委員)
- 12:00 閉会
- 12:15～13:15 JA 総合営農研究会 総会 (会員のみ)

総会開催
します

参加お申し込み方法

JA 総合営農研究会ホームページ上の参加申し込みフォームから
お申し込みいただけます。

JA 総合営農研究会

検索



申し込み締切 2026年7月16日 (木)

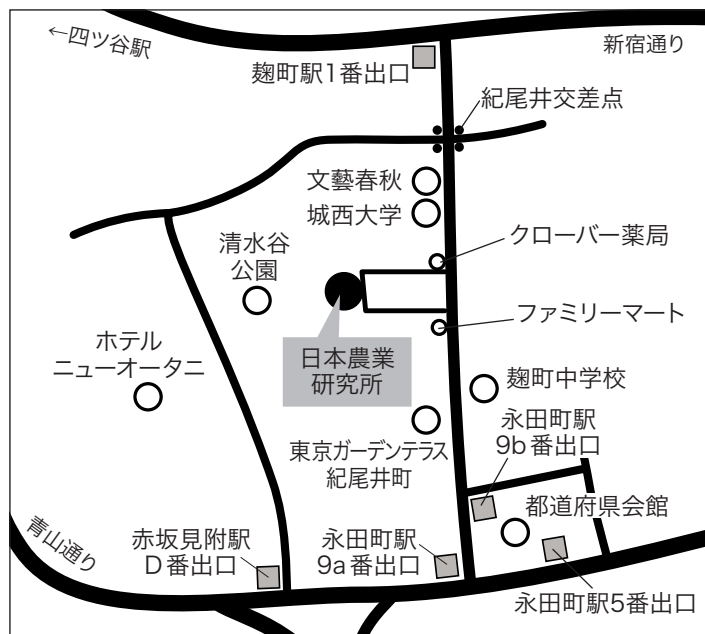
※ 締切日を過ぎてのお申し込みは、事務局宛で相談ください。

問い合わせ先: JA 総合営農研究会事務局
(一社) 農文協 経営局文化活動グループ内
TEL: 048-233-9336 E-mail: info@ja-it.net

会場

日本農業研究所 1F

- ▶ 有楽町線「麹町」駅 (1番出口) 徒歩3分
▶ 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町」駅 (9a/9b/5番出口) 徒歩5分
▶ 丸の内線・銀座線「赤坂見附」駅 (D番出口) 徒歩10分



※ **JA 総合営農研究会** JA 営農経済事業の改革と地域農業の活性化に向け、全国の JA 役職員が課題を共有しながら先駆的事例を双方向に学びあう実践的な研究会。2001年に「JA-IT 研究会」として設立。約40の JA を正会員とし、年3回の「公開研究会」と年1回の「人材養成セミナー」などを中心に活動する。2019年6月に「JA 総合営農研究会」と改称した。